

愛知県の市長会からの要請で、県内各市が被災地に行政職員を派遣することになりました。

西尾市からも2名、税務課の職員が4月半ばからの1か月仙台市で罹災証明の発行などの業務支援に出るそうです。

派遣期間は、まずは1週間。西尾は第1週と4週を担当するとのこと。余震もあるなかですが、20代の方たちが志願して下さったそうで頼もしい限りですが、無理をせずに、しかし、しっかり働いていただきたいと願っています。

他の専門職については、統括する各全国組織や団体を取りまとめをしているとのことですし、市民病院でも派遣の体制を整えているとのこと。着々と支援が届けられつつあることを喜びます。

いずれ長期戦になることは間違いなく、やはり都道府県の連携が有効のように思えます。先方が何を必要としているのか、刻々と動く変化を見定めつつ、日本中のどこが被災地になっても対応できる危機管理体制が整えられるよう願ってやみません。